

- 問1 白村江の戦いにおける大敗後、大和政権が急速に中央集権体制の確立（公地公民や律令の整備）を急いだ背景として、当時の東アジア情勢から考えられる理由を説明したものとして適切なものはどれですか。（2025年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 平氏や源氏といった武士団の台頭を抑え、天皇中心の軍隊を再編する必要があったから。 | 2. 朝鮮半島での利権を完全に放棄し、国内の開墾事業に専念して食糧増産を目指したから。 | 3. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を育てることで精神的な団結を図ったから。 | 4. 唐や新羅による侵攻の脅威に対抗するため、国力を結集し強力な国家を創る必要があったから。 |
|---|---|---|--|
- 問2 8世紀の初め、現在の群馬県にあたる地域に建てられた「多胡碑」には、朝廷の命令によって新たな郡が設置されたことが記されています。このように、唐の制度にならって定められた法律に基づき、地方の行政区画を整備することで形成された、天皇を中心とする中央集権的な国家の仕組みを何といいますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 律令国家 | 2. 守護・地頭制 | 3. 封建国家 | 4. 幕藩体制 |
|---------|-----------|---------|---------|
- 問3 飛鳥時代から奈良時代にかけて確立された、地方を統治するための仕組みについて、中央から派遣された役人である「国司」の説明として最も適切なものはどれか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 明治時代に政府から任命され、旧藩の区域を廃して新たに置かれた県の長官となった。 | 2. 中央の都から派遣され、一定の任期を持って地方の行政や裁判、軍事を担った。 | 3. もともとその土地を治めていた有力な豪族が任命され、実質的な徴税実務を世襲で担った。 | 4. 鎌倉幕府によって各国の土地管理や治安維持のために派遣され、年貢の徴収を行った。 |
|--|---|--|--|
- 問4 飛鳥時代、聖徳太子が仏教を政治に取り入れた影響を受け、各地の有力な一族が競って寺院を建立しました。このような寺院建立の主な目的や当時の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|
| 1. 武士が戦乱の世を逃れ、極楽往生を願って山奥に阿弥陀堂を建立した。 | 2. 聖武天皇が仏教の力によって国家の災いを取り除こうと考え、全国に一律の規格で建立した。 | 3. 地方を治める国司が、天皇の代わりのために新しい行政拠点として建立した。 | 4. 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。 |
|-------------------------------------|---|--|---|
- 問5 聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣した目的として、当時の日本の政治状況や国づくりの方針を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2015年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 大宝律令を完成させるために、中国の法律の専門家を日本に招く交渉を行うため | 2. 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため | 3. 卑弥呼がかつて受けた「親魏倭王」のような称号を隋の皇帝から授かり、国内の統治を安定させるため | 4. 菅原道真の建議に基づき、危険な渡海を伴う外交を縮小するための事前調査を行うため |
|---|--|---|--|
- 問6 飛鳥時代に建立された豪族寺院について、その特徴を正しく述べたものはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 平安貴族が浄土への憧れから、寝殿造の様式を取り入れた華麗な庭園とともに建てた。 | 2. 国ごとに国分寺と対になる形で設置され、女性の僧侶が修行する場所として建てた。 | 3. 聖徳太子による仏教振興を背景に、豪族たちが勢力の大きさをアピールするために建てた。 | 4. 遣唐使によってもたらされた最新の禅宗を広めるため、幕府の全面的な支援を受けて建てた。 |
|--|---|--|---|
- 問7 天武天皇が進めた政策のうち、国家の正当性を示し、天皇の権威を強化する目的で行われた事業として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 律令制度を完成させるため、日本で最初の本格的な法律である大宝律令を制定した。 | 2. 新しい政治の形を整えるため、唐の長安をモデルとした平城京への遷都を断行した。 | 3. 仏教の力で国家の混乱を鎮めるため、東大寺の大仏造立や全国への国分寺建立を命じた。 | 4. 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。 |
|---|---|---|--|
- 問8 律令制度に基づく中央官制において、神事をつかさどる神祇官とともに、政治の最高機関として位置づけられた組織を何といいますか。その下に八省を従え、実務を統括した名称を答えなさい。（2024年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|----------|
| 1. 摂政 | 2. 評定衆 | 3. 太政官 | 4. 六波羅探題 |
|-------|--------|--------|----------|
- 問9 ある法令の条文には「一に曰く、和を以て貴しとなし…」「二に曰く、篤く三宝を敬へ…」という記述が見られる。この法令に関する説明として最も適切なものはどれか。（2016年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 天武天皇らが編纂し、中国にならって政治の仕組みを定めた。 | 2. 北条泰時が制定し、武士の慣習に基づいて裁判の基準を定めた。 | 3. 聖徳太子が制定し、役人が守るべき道徳や心構えを示した。 | 4. 中大兄皇子が制定し、全ての土地と人民を公のものとした。 |
|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問10 法隆寺の金堂に見られる、柱の中ほどに膨らみを持たせる「エンタシス」という技法や、その建築様式について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| 1. 日本独自の風土に合わせて発展した、優雅な国風文化の特徴を示している。 | 2. ギリシャなどの西方文化の影響がシルクロードを経て伝わった、飛鳥文化の特徴を示している。 | 3. 唐の先進的な文化を直接取り入れた、国際色豊かな天平文化の特徴を示している。 | 4. 禅宗の影響を受け、簡素で精神性を重んじた東山文化の特徴を示している |
|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
- 問11 飛鳥時代、有力な豪族として聖徳太子（厩戸皇子）と協力し、仏教を広めるとともに天皇を中心とした国づくりを進めた人物はだれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 蘇我入鹿 | 2. 蘇我稻目 | 3. 物部守屋 | 4. 蘇我馬子 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 7世紀初頭の飛鳥時代に建立された、現存する世界最古の木造建築物として知られる、この時代の仏教文化を代表する寺院の名称を選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|
| 1. 延暦寺 | 2. 東大寺 | 3. 法隆寺 | 4. 平等院鳳凰堂 |
|--------|--------|--------|-----------|
- 問13 天智天皇が「庚午年籍（こうごねんじゃく）」と呼ばれる日本で最初の全国的な戸籍を作成した最大の目的は、どのような点にありましたか。当時の社会背景を踏まえて、最も適切な理由を選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 全国の人民の名前や住所を把握することで、公平に土地を分け与えるとともに、兵役や税を確実に課するための基礎とするため。 | 2. 仏教による国家の安定を目指し、全国の寺院に住む僧侶の数や修行の状況を把握して管理するため。 | 3. 大規模な干拓事業や東大寺の建立にあたり、必要な労働力を確保するために浮浪化した農民を強制的に連れ戻すため。 | 4. 遣隋使や遣唐使として渡航する優秀な人材を見極めるため、氏姓制度に基づいた豪族の家系図を整理するため。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 唐や新羅による侵攻の脅威に対抗するため、国力を結集し強力な国家を創る必要があったから。	対外的な軍事的敗北は、当時の政権にとって国家滅亡の危機でもありました。唐や新羅の侵攻に備えるためには、軍備を整えるだけでなく、戸籍を作成して徴兵や徴税を確実に行える強力な政府（中央集権国家）を作る必要がありました。これが、天智天皇から天武天皇、持統天皇へと続く律令国家建設の大きな動機となりました。
問2	答え 1 律令国家	7世紀後半から8世紀にかけて、日本は中国（唐）の高度な統治システムを取り入れ、刑罰を定めた「律」と、政治の仕組みを定めた「令」を整備しました。これにより、全国を国・郡・里といった行政区画に分け、中央から役人を派遣して土地と人民を直接支配する中央集権体制が確立されました。多胡碑はこの仕組みが地方まで浸透していたことを示す資料です。
問3	答え 2 中央の都から派遣され、一定の任期を持って地方の行政や裁判、軍事を担った。	律令制における地方統治の仕組みでは、中央集権体制を強化するために、最上位の行政単位である「国」に都から国司が派遣された。国司は任期が終われば都に戻る仕組みとなっており、現地の豪族が任命され世襲された「郡司」とは、役割や身分が明確に区別されていた。なお、地頭（鎌倉時代）や守護大名（室町時代）、県令（明治時代）とは、設置された時代や目的が異なる。
問4	答え 4 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。	飛鳥時代には、法隆寺や飛鳥寺に代表されるように、聖徳太子や蘇我氏などの有力な豪族が最新の文化である仏教を取り入れ、その勢力を誇示するために寺院を建立しました。これらは「豪族寺院（氏寺）」と呼ばれ、特定の氏族の繁栄を祈る性質が強いものでした。一方、選択肢にある「国家を守るために全国に建立された寺院」は、奈良時代の聖武天皇による国分寺・国分尼寺を指しており、建立の主体や目的が異なります。
問5	答え 2 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため	当時の日本は、豪族が強い勢力を持つ体制から、天皇を中心とした組織的な国家への転換を目指していました。冠位十二階や十七条の憲法の制定と並行して行われた遣隋使の派遣は、中国の官僚制や仏教精神を学ぶことで、強力な国家体制を築くための重要な手段でした。なお、大宝律令は8世紀、遣唐使の停止（菅原道真の建議）は9世紀の出来事であり、卑弥呼は3世紀の人物です。
問6	答え 3 聖徳太子による仏教振興を背景に、豪族たちが勢力の大きさをアピールするために建てた。	飛鳥時代、聖徳太子が仏教を厚く保護し政治の柱としたことで、蘇我氏などの豪族もこれに倣いました。当時、大規模な寺院を建立することは、高度な建築技術や大陸の文化を所有していることの証明であり、自らの権威を内外に示す手段でもありました。奈良時代の聖武天皇による国分寺建立が「国家の安泰」を目的とした公的な性格を持つのに対し、飛鳥時代の寺院は「豪族の権威付け」という私的な性格が強いのが特徴です。
問7	答え 4 国家の歴史を体系的にまとめるため、『日本書紀』や『古事記』の編纂を開始させた。	天武天皇は、壬申の乱を経て確立した自らの政権の正統性を国内外に示すため、国家の歴史編纂を命じました。これが後に『古事記』や『日本書紀』として完成します。また、この時期に「天皇」という称号や「日本」という国号が本格的に使われ始めたと考えられており、これらは中央集権体制を象徴する重要な動きとなりました。
問8	答え 3 太政官	律令国家の統治機構は「二官八省」と呼ばれます。その中核である太政官は、中務省や式部省といった八つの実務機関（八省）を指揮し、国の政務全般を決定する最高行政機関としての役割を果たしました。
問9	答え 3 聖徳太子が制定し、役人が守るべき道徳や心構えを示した。	提示された条文は「十七条の憲法」のものである。これは豪族たちに対して、争いをやめて天皇に服従し、役人として真面目に働くよう求めた道徳的訓戒の意味合いが強い。「三宝」とは仏・法・僧（仏教）を指す。他の選択肢はそれぞれ公地公民（改新の詔など）、律令、御成敗式目の説明である。
問10	答え 2 ギリシャなどの西方文化の影響がシルクロードを経て伝わった、飛鳥文化の特徴を示している。	法隆寺の柱に見られる膨らみは、古代ギリシャの神殿などに見られる「エンタシス」と呼ばれる技法との関連が指摘されています。これは、当時の日本が朝鮮半島や中国だけでなく、シルクロードを通じて遠く西方の文化の影響も受けていたことを物語る、日本最古の仏教文化である飛鳥文化の重要な事例です。
問11	答え 4 蘇我馬子	蘇我馬子は、仏教の受容をめぐる対立していた物部守屋を倒し、一族の繁栄を築きました。聖徳太子とともに冠位十二階や十七条の憲法の制定に関わり、中央集権的な国家体制の基礎を作りました。選択肢にある蘇我入鹿は馬子の孫にあたり、大化の改新（乙巳の変）で滅ぼされた人物です。
問12	答え 3 法隆寺	飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたとされる寺院で、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。この時代の文化は飛鳥文化と呼ばれ、中国や朝鮮半島など大陸の技術や仏教の影響を強く受けているのが特徴です。
問13	答え 1 全国の人民の名前や住所を把握することで、公平に土地を分け与えるとともに、兵役や税を確実に課すための基礎とするため。	大化の改新から始まった「公地公民」の原則を具体化するためには、政府が直接人民を把握する必要がありました。天智天皇が作成した庚午年籍は、人民に口分田を与えて耕作させ（班田収授）、代わりに税（租・庸・調）や兵役（防人など）を課すための台帳として機能しました。特に当時の日本は唐や新羅の脅威にさらされていたため、兵力を確保するための人民把握は急務でした。